

校長室の窓から **No.52**

☆☆☆☆五城目町立五城目小学校 校長室だより 平成 29年7月20日 (木)

○創立(143周年)
明治7年5月7日
○児童数 280名
(H29.7.1日現在)
○教職員数 45名
文責:校長 戸部裕隆
※スマートフォン
からもご覧
いただけます。



家庭学習ノート展を見て

過日のPTA授業参観には猛暑の中、保護者・地域から多数の参観をいただき、心より厚く御礼申し上げます。「みんなの登校日」ということで、渡邊時計店の渡邊様のご協力によってミニ版「高橋武子写真展」を開催することもできました。ノーベル平和賞を受賞したシュバイツァー博士、夫とともに医療に携わった武子さん(五城目出身)の生き方に触れる貴重な機会になったのではないのでしょうか。

当日はまた、各学年の家庭学習ノートを展示しました。教室前に展示された1年生のノートを見て、わずか3ヵ月の間に大多数の子どもが家庭学習を継続していることに驚きました。また、2年生以上の取組状況を見ると、問題の解答がなぜそうなるのか理由を記述しているノートも数多く見られるなど、学習内容は年々充実してきているように思います。

★家庭学習ノート展 優秀賞



ご承知のように、子どもの学習成績は生活習慣と深く結び付いています。低学年から中学年にかけて全般に幼い言動が抜けきらない子どもでも、起床・就寝時刻や食生活改善などで家庭での生活習慣がよく整ってくると、その成果が中学年から高学年のある時から急に面に出てきたかのように成績に出てくることが多くの場合見られます。家庭のしつけで心が安定し、学校での教師や友達との関わりによって知的好奇心が旺盛になっていくのです。

今の中学2年生以下の児童生徒は、大学進学に向けた受験制度が大きく変わるといことはご存じでしょうか。少し話が早いと言われるかも知れませんが、こうした動きを踏まえ本県の公立高校入試問題の内容は既に変わってきてい

るのです。自分の思いや考えを相手にしっかりと言葉や文字で伝えたり表現したりする力、具体的には「聞く、話す、読む、書く」の4つの力を総合的に試す問題の割合がどの教科でも増えているのです。

学年通信などでお知らせしてあるように、本校が目安にしている家庭学習時間は「学年×10分+10分」。1年生は20分、6年生では1時間10分以上となります。ちなみに中1生は、平日2時間以上が基本です。家族で声を掛け合って、楽しみながら毎日継続していく習慣を育むことができれば理想ですが、「そんなことを言われても家は無理」「とても子どもの勉強にまで口を出している余裕はない」というご家庭もあるでしょう。そんな時は、子どもへ勉強時間の問いかけと温かい励ましの言葉をかけるだけでもいいと思います。昔から言われるように、子どもは家庭では親、学校では教師の背中を見て育つものだと思います。暑い夏が続きますが、私たち大人はこのことを意識しながらかかわるようにしていきたいものです。

活躍・健闘を祈る!

放課後や週末にスポーツ少年団に所属している団員やピアノや珠算、習字、それに合唱やダンス、舞踊などに励んでいる五小っ子が、次々に賞状やカップ・メダル等をもって報告に来ます。この夏には、県大会を勝ち上がって柔道の全国大会に出場する6年畠山凱くんをはじめ、県大会に出場する女子ミニバススポ少、千代田区との交流体験に参加する子どもたち、それに「きやどっこまつり」で盆踊りに参加する子どもたちにも期待しています。野球やバレーボール、バドミントン、卓球、剣道、水泳、ラグビー、サッカーテニス、レスリングなどの子どもたちも、更なる高みを目指しています。



時には苦しく、投げ出したくなることもあるでしょうが、一つ一つ乗り越えていくプロセスに、ほかでは得がたい達成感や満足感があるものです。6年生にとっては最後の夏。仲間・周囲の人を信じ、目標に向かってやり抜いてほしいと心から応援しています。

活躍が期待される畠山くん(6年)